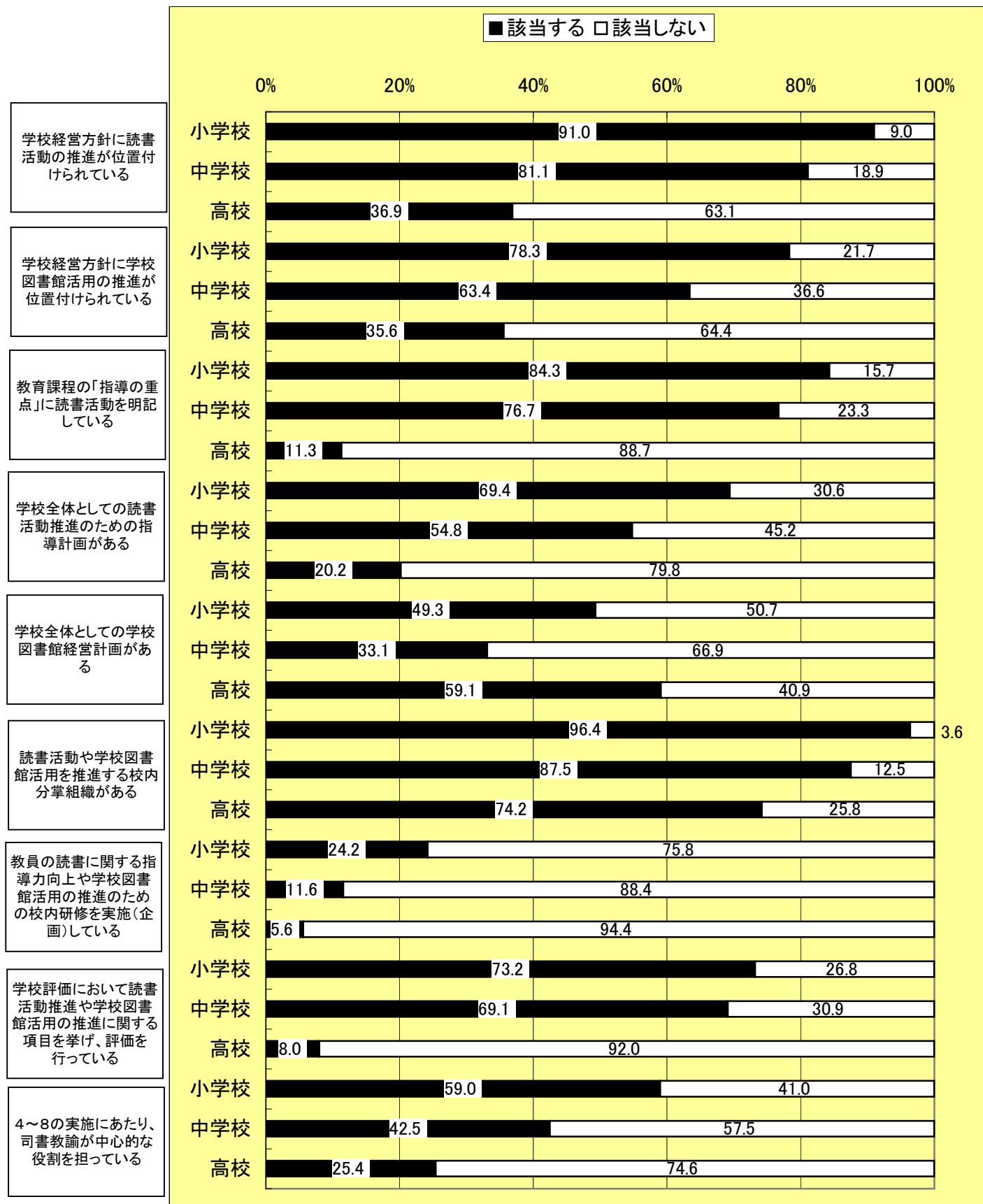
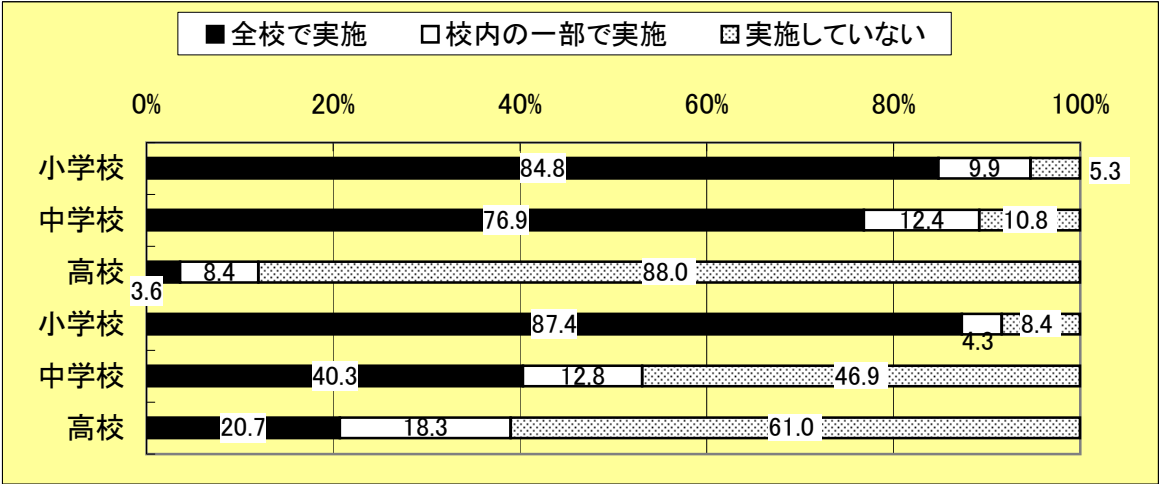


Q1. 学校としての読書活動等の推進



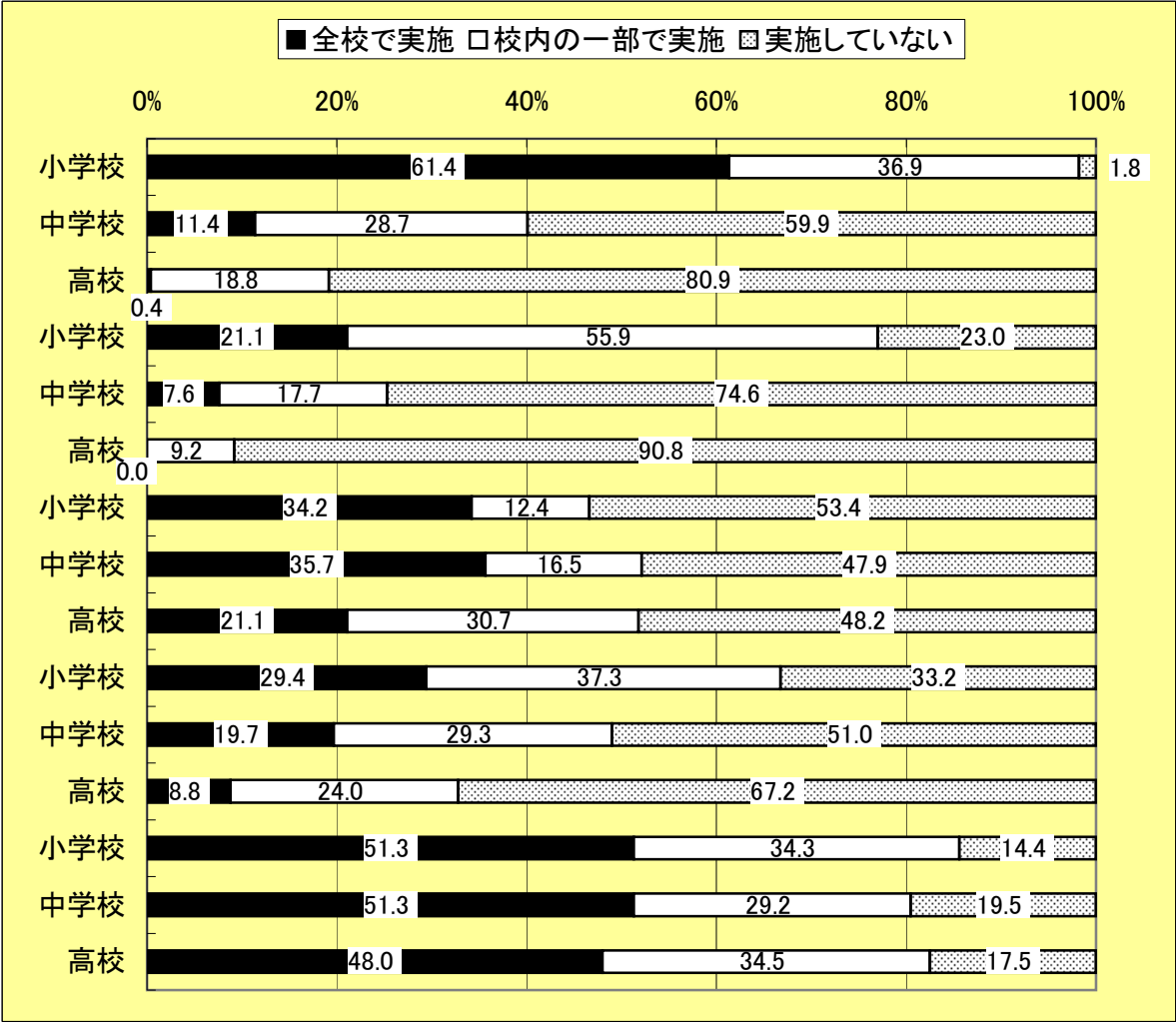
Q2. 読書時間の確保

- 朝や昼休み等に
読書時間を設定し
ている
- 「読書週間」「読書
月間」等を設けて
いる

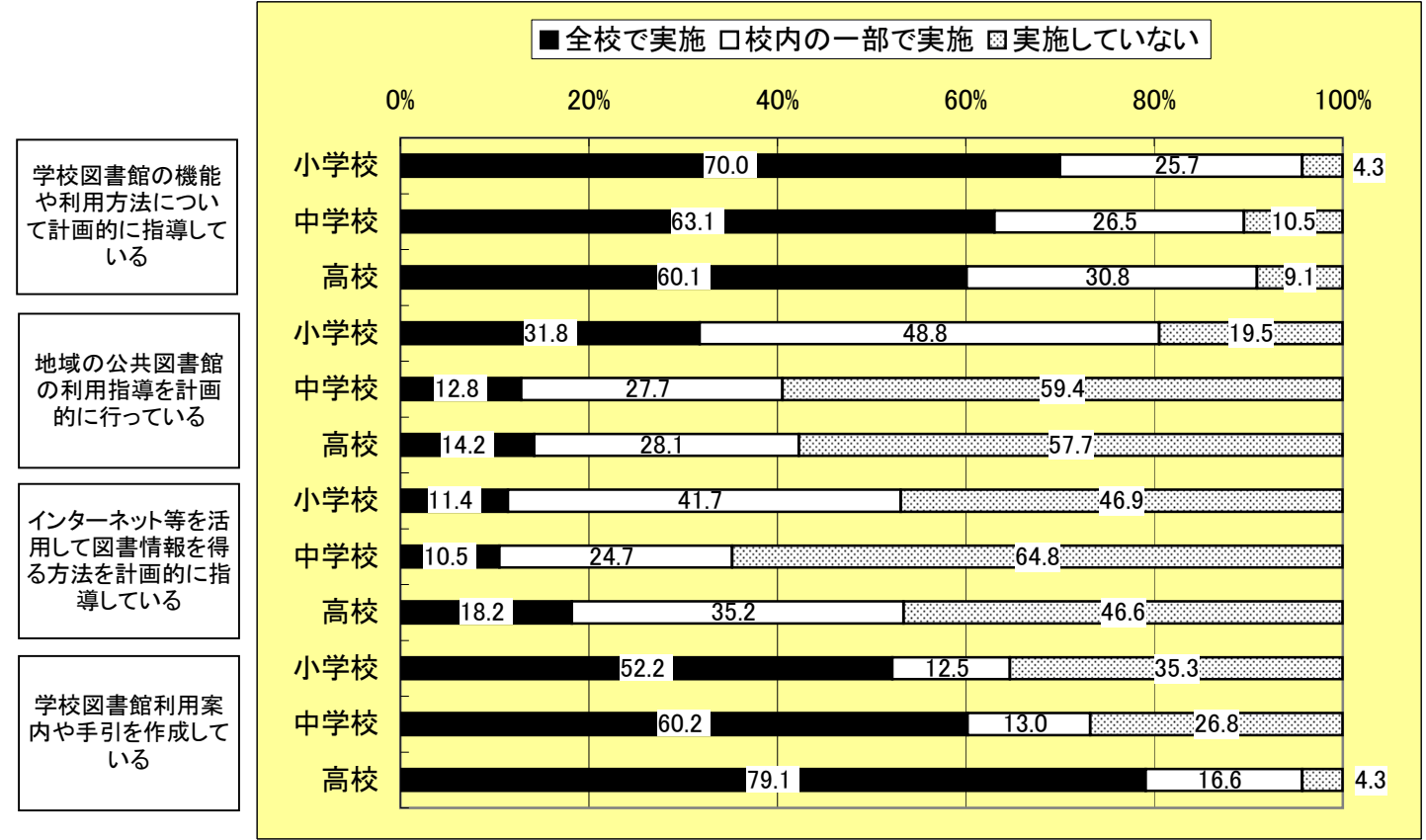


Q3. 読書指導の充実

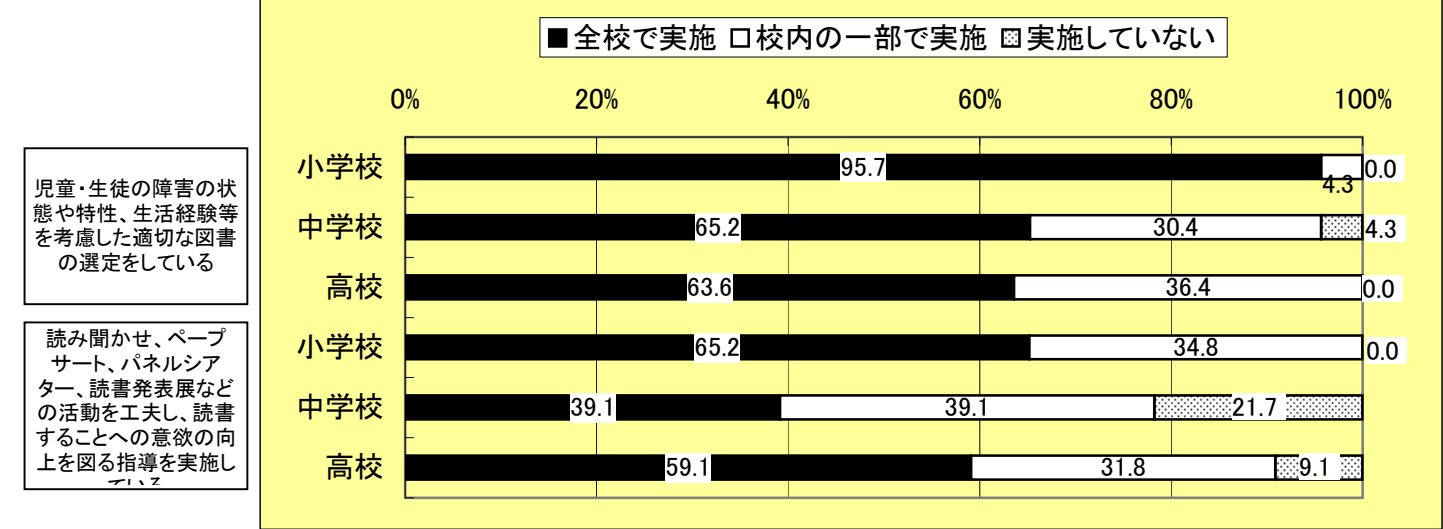
- 教師や児童による読
み聞かせを実施して
いる
- 学級活動等で読書
会を実施している
- 独自の「課題図書」
等のリストを作成し
ている
- 読書指導の資料・教
材を校内で組織的に
活用している
- 教師の推薦図書を
児童に紹介している



Q5. 学校図書館及び公共図書館の利用指導の充実



Q6. 障害に配慮した読書活動の充実



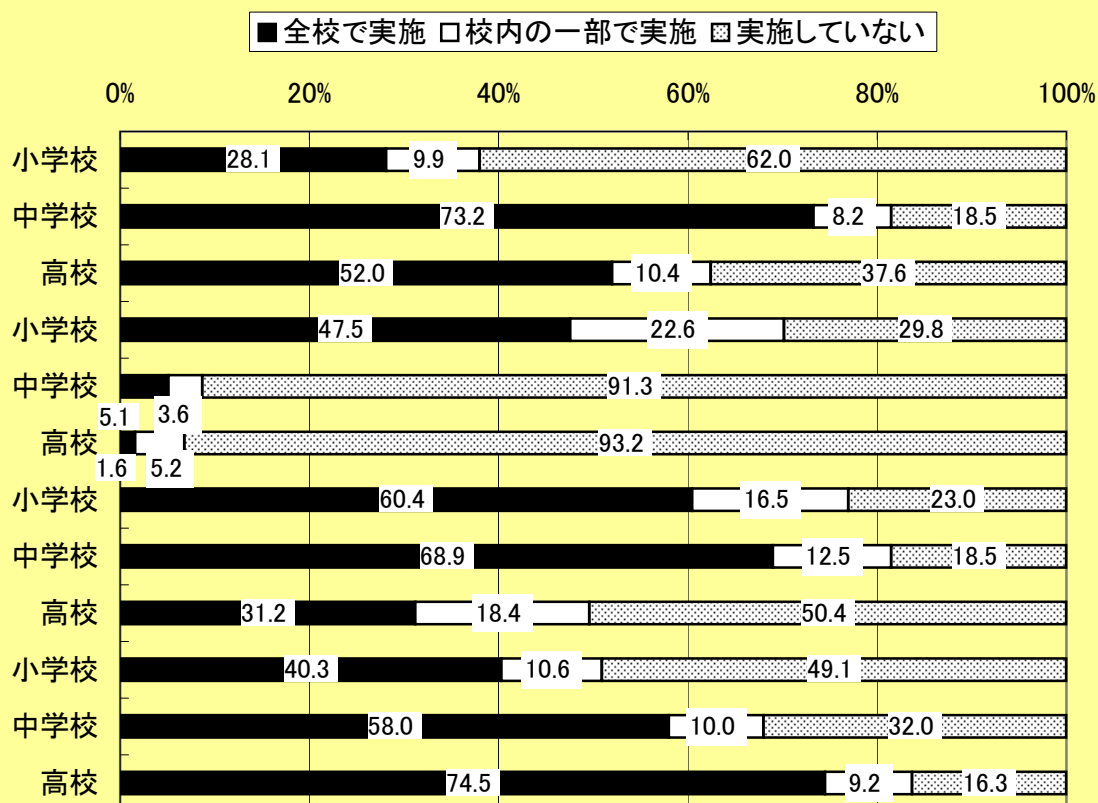
Q7. 図書委員会の活動の充実

図書委員が作成した「図書だより」等を活用した読書指導を行っている

図書委員による読み聞かせを実施している

学校図書館の利用について図書委員が資料を作成したり、説明したりしている

学校図書館の利用状況に関する統計をとっている



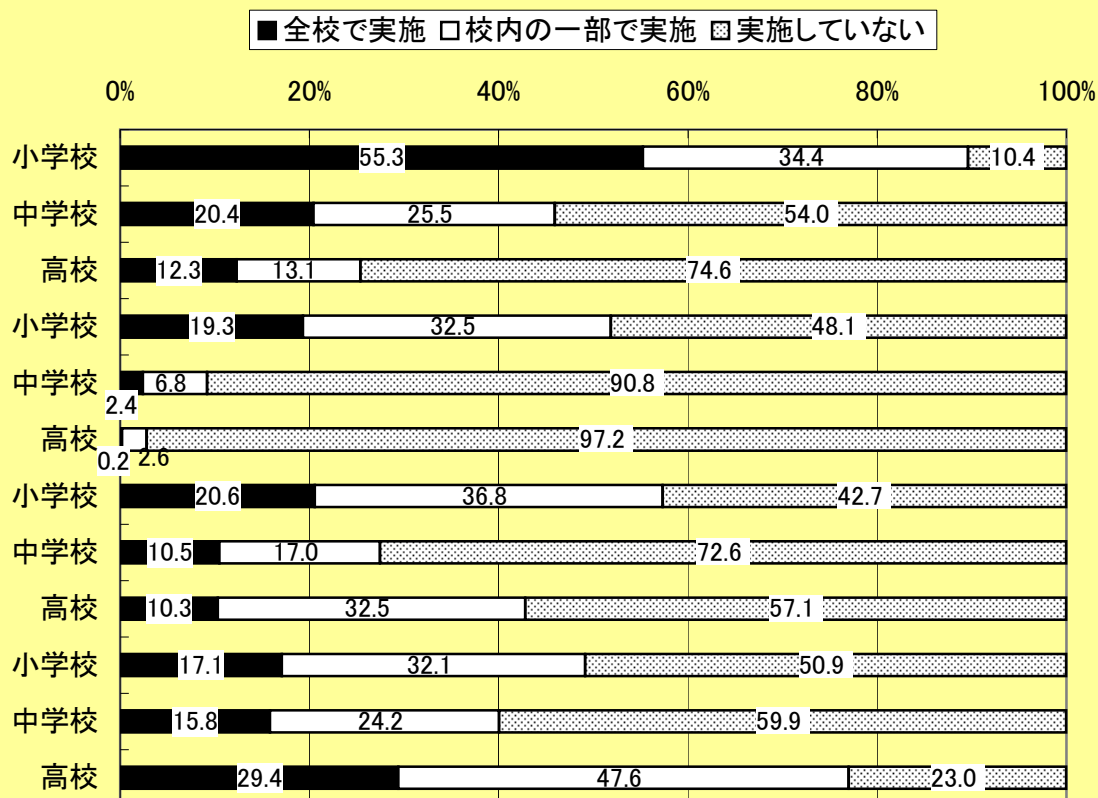
Q8. 地域の公共図書館との連携

公共図書館から図書資料の団体貸出しを行っている

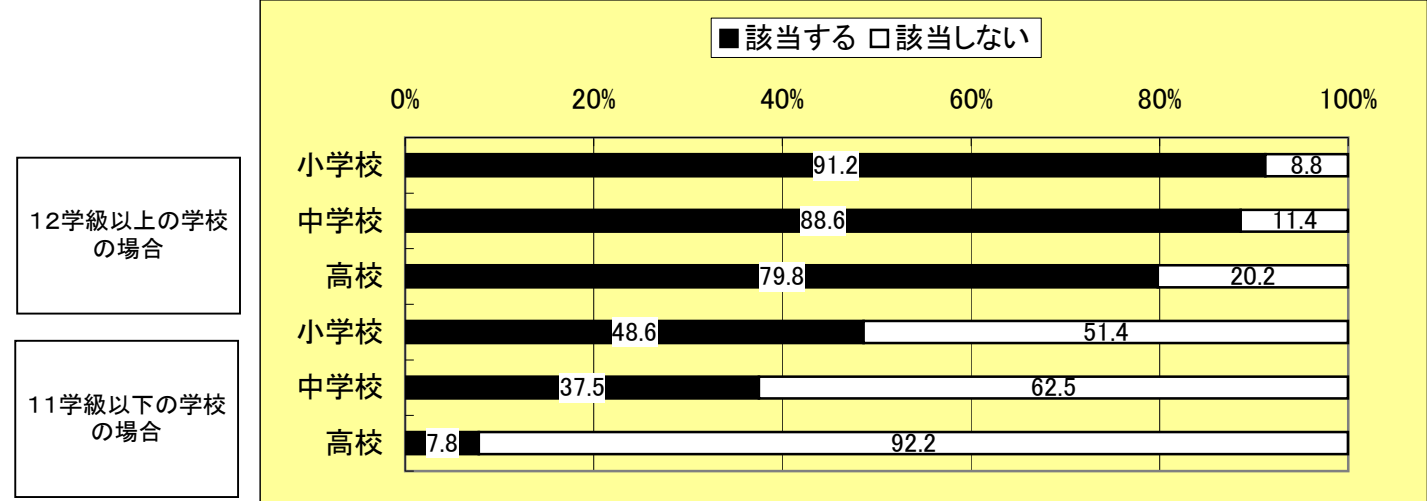
公共図書館の担当者に学校を訪問してもらい、読み聞かせやブックトークを行っている

公共図書館のレファレンス・サービスを利用している

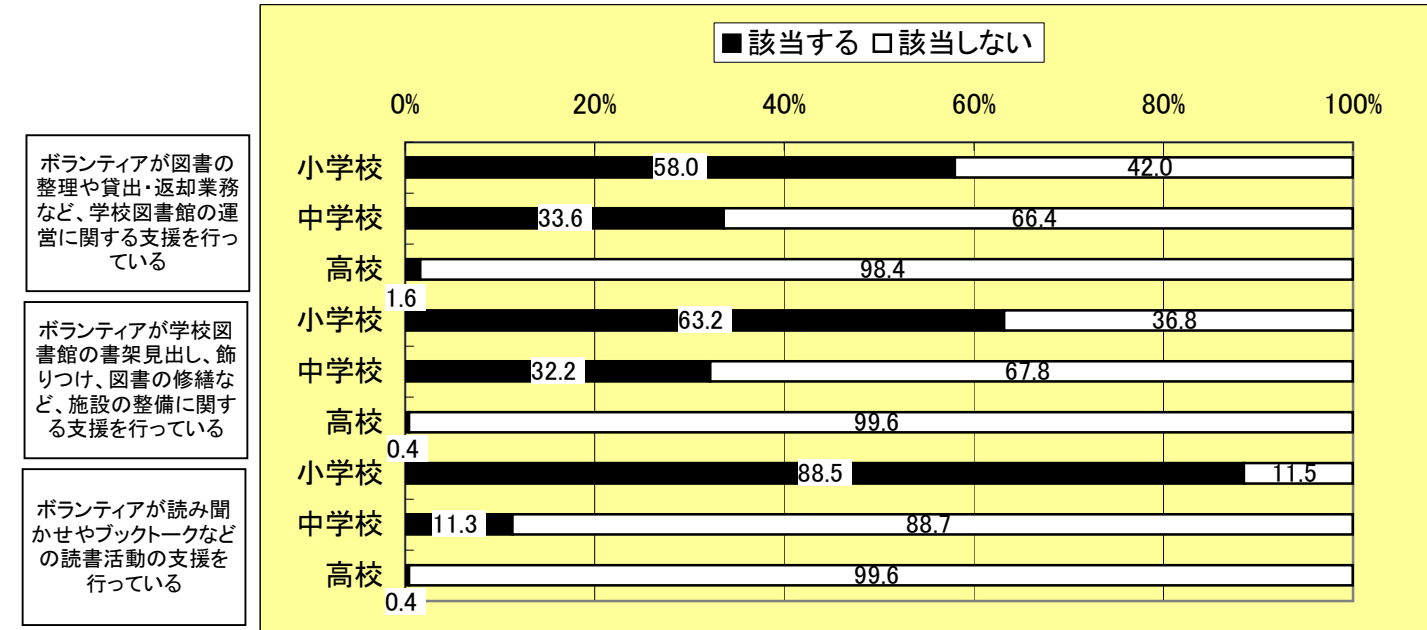
インターネット等を利用して公共図書館の蔵書に関する情報を得ている



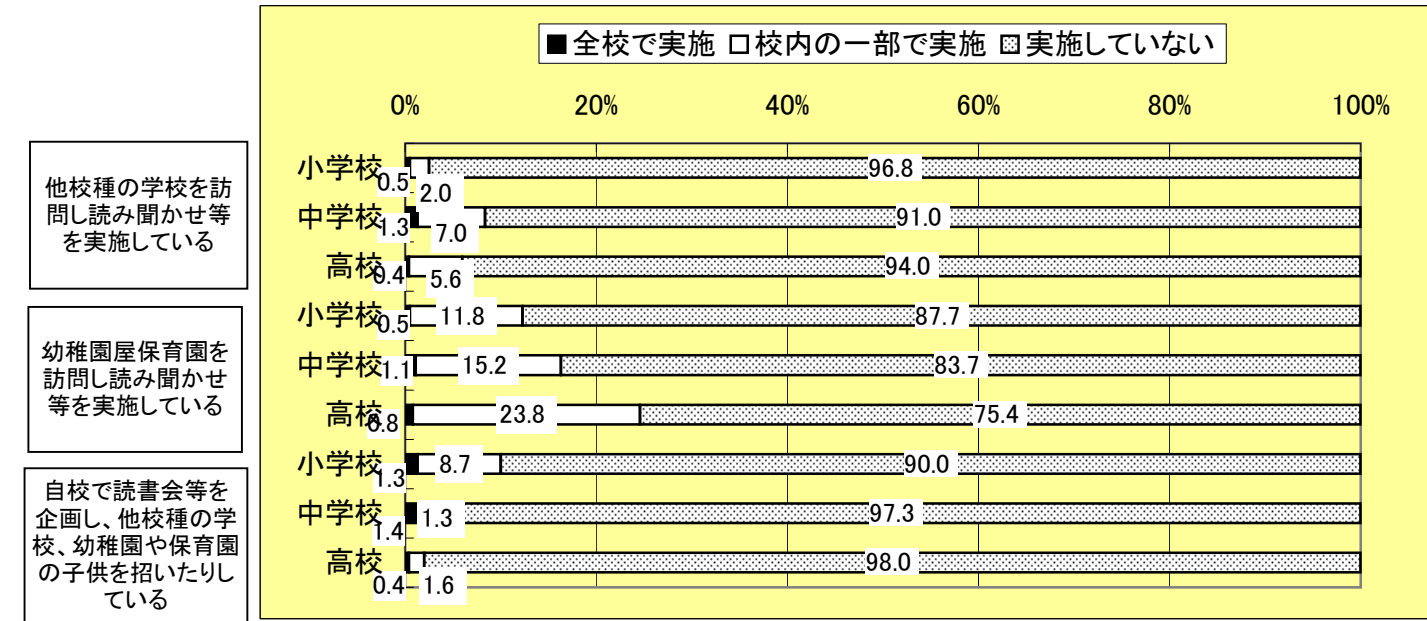
Q9. 司書教諭の発令状況



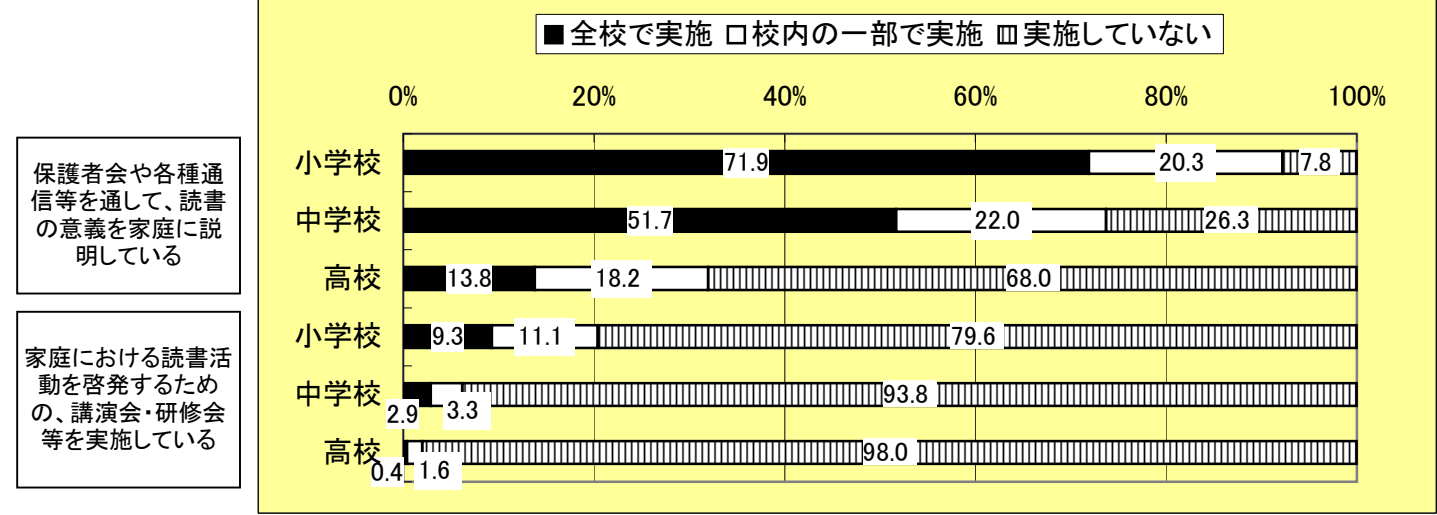
Q10. ボランティアの活用



Q11. 児童・生徒による他校種の学校、幼稚園及び保育園との連携



Q12. 家庭への啓発



Q4「各教科、特別活動、総合的な学習の時間における学校図書館の利用の位置付け」のデータの集計は省略しています。